
第19報 平成23年7月1日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

財団法人 経済調査会

【コンクリート型枠用合板】

輸入品の入荷増により、被災地への供給体制は改善してきている。ただ、需要が思うように伸びず、荷動きは鈍い。在庫増の懸念から、市況は基調を弱めている。

【針葉樹構造用合板】

仮設住宅建設向けの供給は十分に確保できている。これに伴い、一般流通向けの供給量も回復に向かっているが、損壊住宅の修繕等で必要な量の調達は未だ難しい状況にある。被災地の工場の一部が7月より順次再開できる見通しだが、厚物や長尺品を中心として、一部規格の品薄感はいしばらく続きそう。市況は横ばいで推移。

【問い合わせ先】

財団法人 経済調査会

土木第一部・土木第二部

TEL 03-3543-1471

月刊「積算資料」掲載品(一般資材) 東日本大震災におけるメーカー等の被害状況および供給体制確認結果一覧

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	メーカー及び協会	確認日	被害状況について	被災地域への供給体制	被災地域以外への供給体制	備考(価格動向・買占め状況等)
共通資材	型枠材	210 ～ 211	コンクリート 型枠用合板	販売店	6月29日	荷揚げ港、港頭倉庫 の被害は、一部を残し 復旧している。	荷揚げ港の復旧と輸入品の入 荷増により、供給体制は改善して きている。	平常通り。	7月も輸入品の入荷増が見込まれてい る。高値製品が入荷しているが、需要が思 うように伸びず、荷動きは鈍い。このため市 況は、在庫増懸念から、基調が弱まっている。
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	販売店	6月29日	宮古、石巻、大船渡 など、製造工場が被災。現在復旧作業中 で、石巻、宮古の2工場において7月中を めどに部分的な稼働が再開できる見通し となっている。	仮設住宅建設向けの供給は、 十分に確保できている。これに伴 い、一般流通向けも回復に向かっ ているが、損壊住宅の修繕等で 必要な量の調達はまだ難しい。	西日本エリアではほぼ平常通りに 戻ってきている。しかし、東日本エリア では依然として、一般ルート向けで、 まとまった量の確保が難しい状況。	被災地以外の有力工場のフル稼働によ り、需給のタイト感は改善の方向。被災工 場の一部は7月より順次再開できる見通し だが、厚物や長尺品を中心として、一部ア イテムの品薄感はしばらく続きそう。市況は 横ばいで推移。
共通資材	木材	226 ～ 229	仮設・ 土木用 木材	販売店	6月29日		仮設住宅向け需要に伴う杭丸太 等の品薄感は、一部の地域で 残っているが、概ね解消してきて いる。	平常通り。	特になし。
共通資材	木材	230 ～ 237	一般 建築用 木材	販売店	6月29日	特になし。	平常通り。	平常通り。	特になし。